

有て領地は百上同年保科肥後守正之
多下正保元年と九年居任同年松平下
総守清長より下寛文八年と二十五年居
任同年奥平大膳亮昌能より下貞享二年
と十八年居任同年堀田下総守正伸より
下延享三年と六十二年居任同年松平
和泉守乗祐領十万石延享三年堀田お模
守成少将暫し附十万石にツよふれ少科
も交地利志記に服あり

明和元年より秋元祖烏守源朝以後領之

一山王

山王の城本丸の奥より羽源記を見るに
後光厳院延文元年丙申出羽陸奥のふ未
頼隆而按多使源親方史源為頼は出羽國
司に補されし一附は頼を見るに按多使の任をてし
西目よ補されりもやらの字も
日吉の祠より訪て任は平均なりべくハ忽
瑞英をよ（あ）とヤその後又あり同八月
六日宮上山王の縣より一遙館を築て
山王を結守とて康暦元年己未正月十二
日瑞英あり同年六月八日為頼死延文元年
より康暦